

平成29年度九州地区大学等技術研究協議会議事録

日時：平成30年3月7日(水)12:00～13:00

場所：名護市労働福祉センター2階会議室

議長：井本祐二(九州工業大学) 書記：二尾浩樹(九州工業大学)

出席：松川洋二，大杉信隆(九州大学)，井本祐二，若山登，二尾浩樹(九州工業大学)，北嶋和進，宮元章(北九州工業高等専門学校)，青柳洋平，松川真也(有明工業高等専門学校)，田中久治，河端亨(佐賀大学)，松尾堅太郎，是枝弘行(長崎大学)，上村実也，白川武敏(熊本大学)，嶋田不美生，高橋徹(大分大学)，屋良朝康，釣健孝，儀保健太(沖縄工業高等専門学校)，外山貴子，真木大介(宮崎大学)，宇座俊吉，長田克之(琉球大学)，中村喜寛，尾上昌平(鹿児島大学)

欠席：久留米工業高等専門学校(事務局連絡ミス)，佐世保工業高等専門学校(高専行事)

議題：

1. 受付システムの提供

井本議長(九州工業大学)報告：

平成27年度九州地区総合技術研究会in九州工業大学」で使われていた受付システムを長岡科学技術大学より「2017年度機器・分析技術研究会in長岡」の受付に利用させてもらいたいと要請があり，以下の条件(～～～部分)を付けて提供した。

- ・ システムそのものは，第1回の鹿児島大学で作られ，開催担当が必要な修正を加えて運用している
- ・ 先方より，技術レベルの問い合わせが1件あり，対応した。

～～～

九州地区大学等技術研究協議会(以降「九州地区協議会」という)は，九州地区総合技術研究会受付システム(以降「受付システム」という)を，長岡科学技術大学における機器・分析技術研究会のために提供する。

ただし，受付システムを利用するにあたり，以下の条件を付加する。

1. 受付システムは九州地区協議会から提供を受けたことを表記する
2. 受付システムにおいて事故や損害等が発生した場合，九州地区協議会は一切責任を負わない
3. 原則として，受付システムについての問い合わせには応じない

なお，提供する受付システムは，九州工業大学で利用したものとし，軽微な質問は九州工業大学の担当者が対応する。

～～～

2. 報告書の寄贈

井本議長(九州工業大学)報告：

「科学技術振興機構」より、「平成27年度九州地区総合技術研究会in九州工業大学報告集」の寄稿が求められた。第1回の鹿児島大学、第2回の長崎大学も寄稿しており、同様に寄稿したことを確認し、第3回の九州工業大学も寄稿した。(別紙topic_No2.pdf)

今後の対応は、開催した機関が寄稿の判断をすることが確認された。

- ・ 著作権は原稿を執筆した本人にある

3. 登録情報および原稿の取り扱い

井本議長(九州工業大学)報告：

九州地区総合技術研究会の開催時に収集された登録情報および報告集原稿の取扱を検討し、「九州地区総合技術研究会登録情報および報告集原稿の取り扱い」とした。(別紙topic_No3.pdf)

- ・ 今回参加者メールアドレスの@以下の提供依頼があったが、提供しなかった
- ・ Webで参加者一覧が誰でも閲覧できるが、問題ないか
- ・ 発表タイトルのみ閲覧可能としては
- ・ 参加を予定している人にとっては、Webの登録情報が参考になる
- ・ Web掲載を原則とするが、非掲載の依頼には個別に対応する

4. 「平成27年九州地区総合技術研究会in九州工業大学」の報告

若山氏(九州工業大学)報告：

別紙「平成27年九州地区総合技術研究会in九州工業大学最終報告」、「九州地区総合技術研究会in九州工業大学アンケート結果」(当日配布)に基づき、開催概要、運営体制、開催実績(結果)、来場者アンケート結果が報告された。

- ・ 予算規模は、約200万円(九州工業大学：91万円、参加者：65万円、西日本産業貿易コンベンション協会：40万円)
- ・ この他に、前年度35万円(受付システムサーバ調達、長崎大学出張費)

5. 「平成29年度九州地区総合技術研究会in OKINAWA」の状況報告

釣氏(沖縄工業高等専門学校)報告：

別紙「平成29年度九州地区総合技術研究会in OKINAWA 実施報告」(topic_No5.docx)に基づき、報告された。資料の参加数に加え、当日1名の参加があった。

6. 次期開催の状況報告

中村氏(鹿児島大学)報告：

別紙「平成31年度九州地区総合技術研究会in鹿児島大学」(*topic_No6_1.docx*)に基づき、協議事項が示された。また、「実験・実習技術研究会2020鹿児島大学実施計画書(案)」(当日配布)に基づき、開催目的、開催分野、開催日、などの計画が報告された。ポスター(*topic_No6_2.pdf*)では「同時開催」表記だが、正しくは「合同開催」となる。

- ・ 口頭・ポスター発表は、実験・実習技術研究会と九州地区総合技術研究会を区別しない
- ・ 報告集は、実験・実習技術研究会報告集のみ作成し、九州地区総合技術研究会報告集を別途製本しない
- ・ ホームページも同様に、実験・実習技術研究会サイトのみ作成し、参加申込等も実験・実習技術研究会として受け付ける

以上に対して、「九州総研で行ってきた分野は、ポスター発表形式で行ってほしい」などの意見があった。

7. その他

- ・ 4年後の開催は、佐賀大学で行うことを了承した
- ・ 協議会メンバーについて、久留米高専の後任者を確認する
- ・ 協議会発足時に協議会への参加について賛同を保留していた、琉球大学、九州大学、大分高専の再確認を行う
- ・ 都城、鹿児島、熊本、3高専の参加を促す
- ・ 協議会の事務は、発足当初から熊本大学が担当してきたが、作業の負担も考え、今後は各機関持ち回りで担当することを提案があり、2年後に確認し決定する
- ・ 検討のために、これまでの資料(議事録)をWebで閲覧できるようにする
- ・ 井本議長(九州工業大学)の任期が終了し、次期議長には釣氏(沖縄工業高等専門学校)が就任することを確認した

以上